

三重県歯科医師会の取組

(健康づくり全般)

- ・ 地域における歯科保健の推進を目的とした「地域8020運動推進協議会」を鈴鹿、松阪、南勢志摩、紀南、伊賀の5地区で計8回開催しました。
- ・ 歯と口の健康週間を通じて啓発活動を行いました。
 - 親と子のよい歯のコンクール
 - よい歯の児童生徒の審査並びに表彰
 - 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール
 - 郡市歯科医師会が実施する歯と口の健康週間事業並びに無料健診・相談など
- ・ 第18回三重県歯科保健大会(松阪市)では80歳以上で20本以上歯を維持している方を対象にしたコンクールの優秀者を表彰しました。
- ・ 児童・生徒に対して健康を保持増進させることを目的とし、歯科疾患予防や喫煙予防等に対する研修会を開催しました。また、県内の小学校14校を訪問し、各校の課題に合わせた歯科保健指導を実施しました。
- ・ フッ化物洗口への理解を深めるため、歯科関係者・学校関係者35名で歯科保健先進地視察を実施しました。また、フッ化物応用研修会には140名が参加、県内保育園・幼稚園10施設752名を対象にフッ化物洗口推進事業を行いました。
- ・ 乳幼児の食機能の発達と支援に対する歯科関係者の認識を深めるため、母子保健研修会を開催し75名が出席しました。

(生活習慣病対策)

- ・ 全身疾患と関連の深い歯周病予防の推進に向け、生活歯援プログラム(標準的成人歯科健診プログラム)を応用した成人歯科健診保健事業を、2事業所計38名を対象に実施しました。
- ・ 歯・口の健康と食生活の関連についての認識を深め、適切な食習慣の形成を進めるため、家庭・学校・地域での食育に関する講演会を開催、111名が参加しました。また、かむかむクッキングコンクールを開催し、栄養バランスを考慮した「噛みごたえのある成人向け料理レシピ」に132点の応募がありました。

(介護予防対策)

- ・ 高齢者とその介助者に対し、高齢者の口腔機能向上と専門的口腔ケアに関する知識普及を目的とした、口腔ケア推進支援事業を7施設で計13回実施しました。
- ・ 在宅歯科医療の推進、摂食嚥下障害に対する知識および技術の向上を目的とした、病院歯科における口腔ケア実践研修を開催しました。

(その他)

- ・ がん患者医療連携講習会を3回(手術前患者を対象とした口腔ケア、がん化学療法・頭頸部放射線治療における歯科治療と口腔ケア、がん緩和医療における口腔ケア)と、全国共通がん医科歯科連携講習会を実施しました。

- ・ 病院関係者を対象にした研修会や、一般市民への公開講座において、周術期口腔ケアの必要性と医科歯科連携システムの構築に関する講演を行いました。
- ・ 障がい児（者）の歯科保健医療の充実のために、みえ歯一トネット運営協議会を開催、研修会（障がい者歯科診療時の注意点と対応、指導がむずかしい子どもへの支援）には歯科関係者、学校関係者を含め129名が参加しました。また、障がい児施設における、利用者と職員を対象とした歯科保健指導を14施設で実施しました。
- ・ 歯科治療が困難な状況になりやすい要保護児童に対して口腔保健の知識を啓発するために、北勢児童相談所と中勢児童相談所において毎月1回、口腔内診査と歯科保健指導を行いました。
- ・ 小学校低学年の児童に対して歯科の視点から見守りの必要な児童のスクリーニングを行い、児童の健全な育成を図ることを目的に、鈴鹿市公立小学校1年生から3年生に対して、要保護児童スクリーニング指数（MIES+）の検証事業を実施しました。
- ・ 災害時における高齢者への食支援および口腔ケア研修会を尾鷲で開催、介護サービス事業所職員等19名が参加しました。